

MGC のための Solaris OS の堅くなること

severity アドバイザリーID : cisco-sa-
20020807-solaris-mgc [CVE-
2002-
2037](#)
初公開日 : 2002-08-07 15:00
バージョン 1.0 : Final
回避策 : [Yes](#)
Cisco バグ ID :

日本語による情報は、英語による原文の非公式な翻訳であり、英語原文との間で内容の齟齬がある場合には、英語原文が優先します。

概要

Media Gateway Controller (MGC) 製品は Solaris オペレーティングシステムの上にインストールされています。デフォルトインストールで Solaris は複数セキュリティの脆弱性を知ってもらいます。それらが不正利用された顧客になることを更新済パッケージ CSCOh007 および CSCOh013 をインストールする必要がある防ぐことは。これらのパッケージは Solaris OS の最新の Solaris パッチおよび追加に堅くなることが含まれています。

これらの脆弱性は不正利用され、SC2200 を稼動する顧客のシステムがどこに妥協されたか PSIRT は少数のケースの確認します。

Solaris に基づいている他の製品を検討しています。

回避策はありません。

このアドバイザリーは <http://tools.cisco.com/security/center/content/CiscoSecurityAdvisory/cisco-sa-20020807-solaris-mgc> で利用できます。

該当製品

修正済みソフトウェア

以下の製品は影響を受けています:

SC2200	Solaris 2.6 を稼動するすべてのシステム (リリース 7.4(x) によって)
VSC3000	Solaris 2.6 を稼動するすべてのシステム (リリース 9.1(x) によっ

	て)
PGW 2200	Solaris 2.6 を稼働するすべてのシステム (リリース 9.1(x) によって)
Billing and Management Server (BAMS)	Solaris 2.6 が稼働するすべてのシステム
Voice Services Provisioning Tool (VSPT)	Solaris 2.6 が稼働するすべてのシステム

他の Solaris によって基づく製品を検討しています。

脆弱性を含んでいないことが確認された製品

他のシスコ製品においてこのアドバイザリの影響を受けるものは、現在確認されていません。

改訂履歴

リビジョン 1.0	2002-Jan-16	初版リリース
-----------	-------------	--------

利用規約

本アドバイザリは無保証のものとしてご提供しており、いかなる種類の保証も示唆するものではありません。本アドバイザリの情報およびリンクの使用に関する責任の一切はそれらの使用者にあるものとします。また、シスコは本ドキュメントの内容を予告なしに変更したり、更新したりする権利を有します。

本アドバイザリの記述内容に関して情報配信の URL を省略し、単独の転載や意識を施した場合、当社が管理した情報とは見なされません。そうした情報は、事実誤認を引き起こしたり、重要な情報が欠落していたりする可能性があります。このドキュメントの情報は、シスコ製品のエンドユーザを対象としています。